

まちづくり構想（基本構想原案）【概要版】

※本資料は概要版です。詳細についてご確認したい場合は、
まちづくり構想（基本構想原案）をご覧ください。

1 まちづくり構想策定の経緯と目的

本町では、平成21年度から30年度までの期間「第6次別海町総合計画」に基づくまちづくりを進めており、中でも、別海地区市街地では空き地や空き店舗が目立つとともに、昭和40年から50年代に建築された公共用施設等が、撤去或いは、施設内外を含む機能を刷新する時期を迎えている。

このような状況の中、本町では老朽化した中央公民館の建て替えを主な目的とした「（仮称）別海町生涯学習センター」建設の検討を進めるとともに、別海地区市街地の課題を整理し、町民の質の高い生活の確保と持続可能な地域社会の実現を目指した「別海町市街地活性化計画（別海地区）」を策定した。

その中で検討を進めてきた別海地区の課題解決や防災対応力の強化に向け、国の補助事業を活用した「矢白別演習場周辺まちづくり構想（以下、まちづくり構想と表記。）」の策定に取り組むこととしている。

この補助事業は、防衛施設が存在するという地域の特徴を踏まえ、自衛隊員等と防衛施設周辺地域の住民との文化の交流又は地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくりを行なう場合に、国がその費用の一部を補助し、防衛施設に対する住民の理解を深め、防衛施設とその周辺地域との調和を図ることを目的とした制度となっている。

まちづくり構想は、平成27年度から平成29年度の3年間をかけて策定を進め、平成27年度は、本構想の基本理念や方針を定める「基本構想」を策定する。

2 構想対象エリア

まちづくり構想の対象エリアとして、別海地区を設定する。

3 まちづくり構想（基本構想）策定に係る町民参加機会

基本構想の策定にあたり、次のとおり町民参加機会を用い検討を進めている。

町民参加機会	構成メンバー	概要
町民アンケート	18歳以上の町民の内、2,500名を無作為抽出	実施期間 平成27年11月20日～12月28日 回答数 868件 回答率 34.72% ※詳細は、まちづくり構想（基本構想原案 資料編）をご覧ください。
住民懇話会	関係団体の代表者及び町民	3回の会議を開催し、基本構想の策定に対する意見聴取を行なう。 ※詳細は、まちづくり構想（基本構想原案 資料編）をご覧ください。
まちづくり住民大会	全町民	開催日 平成28年2月13日 ※開催予定 開催場所 中央公民館
パブリックコメント	全町民	実施期間 平成28年2月12日から ※実施中 平成28年3月14日まで

4 構想対象エリアの課題

まちづくり構想の対象エリアである別海地区の課題については、平成26年度に策定した「別海町市街地活性化計画（別海地区）」において整理した課題を含め、住民懇話会等での検討を行ない、次の内容としてまとめている。

- ① 拡大する住宅域の位置づけ
 - ・別海地区は、人口の減少が続く本町の中でも唯一の増加傾向にあり、住宅域が拡大している。今後のまちづくりにおいては、市街地をどのようにコンパクト化していくかが課題となっている。
- ② 市街地のコンパクト化
 - ・高齢化が進み、車社会に対応できない町民や市街地における生活を望む町民が増えていくことが予想されるため、町民が自立した生活を営めるよう、旧別海駅前隣接した地域や別海地区市街地でどのように集約化していくかが課題となっている。
- ③ 防衛関連施設について
 - ・矢白別演習場に係る騒音や振動などの障害、安全性の確保が課題となっている。
 - ・災害時における救助や避難体制に係る体制の整備が課題となっている。
 - ・自衛隊員等が持つ能力を生かした交流や学習機会を通じた町民理解と、まちづくりの担い手となれる環境の醸成が課題となっている。
- ④ 災害時の避難場所の確保
 - ・大規模災害時の避難場所や、他の地域からの2次避難受け入れや物資の供給拠点の整備が課題となっている。
- ⑤ 消費購買力の域外流出、中小小売業等の衰退と商業の活性化
 - ・近隣自治体に建設された大型店舗への消費購買力の域外流出と中小小売業等の衰退が著しく、商店街の活性化が課題となっている。
- ⑥ 交流拠点、防災拠点となる施設の整備
 - ・中央公民館の老朽化による建て替えについて、新たな交流拠点、防災機能拡充のため、（仮称）生涯学習センターの整備が求められている。
- ⑦ 空き店舗や未利用地の有効活用
 - ・空き店舗や未利用地の増加にどのように対処していくかが課題となっている。
 - ・旧別海病院跡地や老朽化した公共施設の建て替え計画などに加え、道東あさひ農業協同組合事務所の移転やAコープ店舗の廃業に伴う未利用地などをどのように活用していくかが課題となっている。
- ⑧ 来街者の増加、回遊性や滞留時間の向上
 - ・案内表示や情報掲示板、パンフレットなど来街者に対するサービスが不足しており、来街者が町内各所に円滑に移動することが困難である。

5 まちづくり構想（基本構想）

まちづくり構想におけるまちづくりの視点

まちづくり構想の基本理念や方針を検討する上で、密接に関連する、第6次別海町総合計画、別海町地域防災計画、別海町市街地活性化計画（別海地区）、（仮称）別海町生涯学習センター建設基本構想（答申）などの関連計画を踏まえるとともに、住民懇話会やアンケート調査の結果などから、基本構想策定の視点を次のとおり整理しました。

■第6次別海町総合計画（平成21年4月～平成31年3月）

- ・ひとが輝くために：子どもがすこやかに育つ環境づくり
- ・まちが輝くために：別海町の魅力を知ってもらい、来訪者を増加
別海町の産品に触れてもらい、生産者と消費者を結ぶ
- ・みんなのつながりでつくる地域のために：地域の課題を町民とともに解決

■別海町地域防災計画（平成26年4月）
防災計画から関連する内容

- ・災害発生した時の給水、防疫、食料供給等災害応急対策に関すること
- ・防災思想の普及に関すること
- ・防災体制の確立

■別海町市街地活性化計画 ～別海地区～（平成26年11月）

- ・拡大する住宅域の位置づけ
- ・市街地のコンパクト化
- ・消費購買力の域外流出、中小小売業等の衰退と商業の活性化
- ・空き店舗や未利用地の有効活用
- ・来街者の増加、回遊性や滞在時間の向上
- ・交流拠点、防災拠点となる施設の整備
- ・災害時の避難場所の確保

■（仮称）別海町生涯学習センター建設基本構想（平成26年4月答申）
「つどい、ふれあい、つながり、まなびあい～
人づくりまちづくりの交流連携拠点」

- ・文化ホール、公民館（学習）、共用部（ロビー）、子育て支援、防災機能、図書館機能、社会福祉機能、観光案内機能などの多機能複合化の検討

■住民懇話会及びアンケート調査

- ・高齢者を地域で支え、暮らし続けられる地域に
- ・まちへの愛着心が高まれば外からでも別海を応援
- ・コミュニティの向上と防災機能、防災意識の向上は密接な関係
- ・子どもから高齢者までが集えるつながりをつくる多世代交流の場が必要
- ・新たな雇用の場、多様な就業形態の創造
- ・公民館機能の充実
- ・地元のものを地元で買える、一次産業を支える地域に
- ・地元産品に対しての自家消費や食育の視点

基本理念

整理した視点を包含するとともに、目指すべきまちの将来像を表す言葉

～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～

町民が安心安全に暮らし続けるために、多世代がつながり支え合う関係をはぐくむ、多世代・複合交流拠点を創造します。

